

100のありがとう風呂で使用している

尾鷲ヒノキの入浴木は、山を守るために伐採する間伐材を使用しております。

世界遺産熊野古道が通る森から切り出された尾鷲ヒノキは、森林組合おわせで合法的に伐採され加工されたものです。

(固体認定番号・三重県木連第 066030 号 会員認定番号・三森合認 8 号)

間伐材とは？

植林をしてからの成長過程で、過密となった森林に対して本数を減らすために行う、抜き切りのことです。



間伐しないとどうなるの？

過密状態のままでは木は太れず「もやし」状の森林になります。そして木は風で倒れやすくなり、森林に日光が届かず枯木が増え、下草が生えず土壌が流出します。



正しく間伐された山



正しい間伐がされていない山

間伐を行うとどうなるの？

間伐を行うと日光が森林に十分に入り、太陽と水が健全な森林を育て、森林が豊かできれいな水を育み酸素を生みます。

熊野古道が通る森は長い歴史をかけて植林が行われており、間伐を重ねてきたことにより健全な森林となり、土壌の流出を防ぎ土砂崩れなどの災害を防止し、間伐された木は、人や環境にやさしい資源としてさまざまな用途に利用されてきました。

その新たな利用方法が100のありがとう風呂の入浴木です。

皆様の利用により、

世界遺産熊野古道の森に光が届きます。

ご賛同いただいた方々のご協力に心より感謝申し上げます。

株式会社熊野古道おわせ
夢古道の湯 店長 伊東将志

